

(2) 小金井市東児童館業務委託評価シート（平成 25～28 年度）

<評価の内容>

- ア 小金井市東児童館事業運営委託契約仕様(小金井市児童館運営基本方針、東児童館事業計画、小金井市東児童館業務運営マニュアル、小金井市児童館緊急対応マニュアル、小金井市児童館相談事業マニュアルを含む)に沿っているか。
- イ 受託先の特性を活かしながら事業運営を行ってきているか。また、組織としての雇用・配置が児童館の運営に資するものとなっているか。
- ウ 前回の選考審査項目のうち、受託者の努力義務となる内容（職員の定着度・ボランティア育成の定着度など）に関する状況と受託団体の対応はどうか。

<評価の基準>

- A 評価できる
- B だいたい評価できる（直営館同等）
- C 問題点もあるが、概ね評価できる
- D 不備・問題点がある
- E 不備・問題点が当初よりも増大している

第1 ガイド	第2 ガイド	評価項目	評価の 内容	個別 評価	総合 評価
I 受託団 体	1 職員	(1) 児童厚生員の資格要件を満たした雇用	ア	A	B
		(2) 適正な人数配置	ア	A	
		(3) 適正な勤務体制（ローテーション）	ア・イ	B	
		(4) 職員の定着度	ウ	C	
		総合評価理由・特記事項			
<p>資格要件、人数配置、勤務体制等は仕様には照らして問題ないが、諸般の事情はあったにせよ4年間でマネージャーが3人目となっている。</p> <p>現場の職員間の連携が良く事業に問題は出ていなかったが、責任者の存在は仕様上、また業務上、重要な要素であり、4年間で複数回の交代は評価を下げざるを得ない。よって、(4)についてはC評価とする。</p> <p>総合評価はBとする。</p>					

第1 ガイド	第2 ガイド	評価項目	評価の 内容	個別 評価	総合 評価
I 受託団 体	2 組織	(1) 責任者の役割	ア	C	B
		(2) 市との連絡・連携	ア・イ	C	
		(3) 定期的な研修・ミーティングの実施	ア・イ	B	
		(4) 職員相互の連携	ア・イ	B	
		総合評価理由・特記事項			
<p>責任者の役割は仕様上、明確である。複数回のマネージャーの交代は大きな問題がなかったようにも見えるが、結果としてキャリアの長い職員と責任者との業務の熟知度・熟練度が逆転し、その影響が長期にわたって続いている様子が見受けられることから、C評価とする。</p> <p>市との連絡・連携については概ね問題ないが、公共施設の現場職員として日常点検や市民との会話で拾い上げるべき改善提案が受託者からの報告等から一部漏れている事例が散見されたことから、C評価とする。</p> <p>研修・ミーティングなどでの情報共有は、基本的によく取り組んでいることから、B評価とする。</p> <p>職員相互の連携については、シフト等もある中、うまく連携しながら運営をしていることから、B評価とする。</p> <p>総合評価はBとする。</p>					
II 運営	1 基本事 項	(1) 児童館運営基本方針に沿った運営	ア	A	B
		(2) 事業計画に基づいた事業の策定・展開	ア	A	
		(3) 運営基準に基づいた独自性の発揮	ア・イ	C	
		総合評価理由・特記事項			
<p>運営や事業の策定・展開は、プロポーザル選考時の新規提案を含めて積極的に事業に取り組んでおりA評価とする。ただし、独自性の発揮に関しては「選考時の提案以外、直営にない事業の各年度における新規提案が難しい」旨の受託者の意見もあるが、各年度の事業計画段階で具体的かつ実現可能な新規提案はなされておらず、何を提案したかったのか自体が不明瞭で一部問題が残ることから、C評価とせざるをえない。</p> <p>総合評価はBとする。</p>					

第1 ガイド	第2 ガイド	評価項目	評価の 内容	個別 評価	総合 評価
II 運営	2 常設子 育てひ ろば (父親 参加促 進事業 を含 む)	(1) 利用者の定着度・満足度	ウ	A	B
		(2) 見守りスタッフ（職員）の配置	ア・イ	B	
		(3) 職員の利用者への対応について	ア・イ	B	
		(4) 企画の充実度	ア・イ	A	
		(5) 部屋・遊具等の管理	ア・イ	B	
	総合評価理由・特記事項				
	<p>利用者アンケートからも利用者の満足度が非常に高く、職員の配置、対応、企画の充実も問題ない。</p> <p>ただし部屋・遊具等の管理については利用者アンケートからも少数ではあるが不満が出ており、また指摘された内容の中には市への報告が漏れているものがあった。</p> <p>また、見守り要員も含めた多くのスタッフを抱えていることで、職員個々の個性がすべての利用者のニーズやその心理状況を汲んだ対応に必ずしもつながっていない。いたし方のない面もあるが、今後、研鑽が必要な部分である。</p> <p>総合評価はBとする。</p>				
3 幼児グ ループ	(1) 利用者の定着度・満足度	ウ	A	A	
		(2) 担当職員の対応	ア・イ		A
	総合評価理由・特記事項				
<p>利用者アンケートからも利用者の満足度が非常に高く、職員の対応等も問題ない。</p> <p>総合評価はAとする。</p>					
4 3.4.5.6 歳児 世代対 象事業	(1) 利用者の定着度・満足度	ウ	A	A	
		(2) 担当職員の対応	ア・イ		A
	総合評価理由・特記事項				
<p>利用者アンケートから利用者の満足度は非常に高い。また、職員の対応等には一部、意見も出ているものの、施設規模や安全管理を含めた総合的な見地から、適正と判断する。施設の収容能力自体の問題もあるが、今後の更なる事業の追加・発展を望むところである。</p> <p>総合評価はAとする。</p>					

第1 ガイド	第2 ガイド	評価項目	評価の 内容	個別 評価	総合 評価
II 運営	5 小学生 を対象 とした 事業	(1) 自由来館児の有意義な遊び場である	ア・イ	A	B
		(2) 自由来館児への職員の対応	ア・イ	B	
		(3) 低学年・高学年グループ活動の内容の充実度	ア・イ	B	
		(4) 低学年・高学年グループ活動への参加者の定着率	ア・イ	B	
		(5) 各種月例行事、夏期クラブの充実度	ア・イ	B	
		(6) 各種月例行事、夏期クラブへの参加者数	ア・イ	A	
	総合評価理由・特記事項				
<p>自由来館児の遊び場としての機能、職員の対応は利用者アンケートからも良好である。また、内容の充実度についても低学年・高学年グループ活動、各種月例行事、夏期クラブ共に、直営館時代からの事業を継承し、子ども・保護者の双方から総じて高い評価である。</p> <p>なお、低学年・高学年グループ活動への参加者の定着率及び各種月例行事、夏期クラブへの参加者数については、抽選に関して意見が散見されるものの、施設や事業開催の規模からやむを得ないと判断した。ただし、東児童館のみ8月の小学生対象行事を実施していない点は、他の事業とのバランスはあるにせよ、広報面で直営館に見劣りする形となってしまっている。</p> <p>総合評価はBとする。</p>					
II 運営	6 中・高 校生世 代を対 象とし た事業	(1) 日常的な利用者数（定着度）	ア・イ	B	B
		(2) 夜間開館事業への定着度	ア・イ	B	
		(3) 中・高校生世代への職員の対応	ア・イ	A	
		(4) 企画の充実度・参加者数	ア・イ	B	
		(5) ボランティア育成の進捗度	イ・ウ	B	
	総合評価理由・特記事項				
<p>利用者アンケートの評価は全項目において非常に高いが、日常的な利用者数は年度によって増減している。夜間開館の利用者も同じ参加者が多く、事業の企画も一部を除いて毎年同じものが多い。</p> <p>総合評価はBとする。</p>					

第1 ガイド	第2 ガイド	評価項目	内容の 分類	個別 評価	総合 評価	
II 運営	6 大人の 活動及 び地域 との連 携 ※ 東児童館 運営会 議・オー プンひが じ(平成 25年度の み)を含 む	(1) 事業へのボランティアの活用度	ア・イ	B	B	
		(2) 幼児グループ等児童館活動からの自主グループの育成度	イ・ウ	B		
		(3) 大人のボランティアへの職員の対応	ア・イ	B		
		(4) 地域健全育成団体・民生委員等との協力・連携	ア・イ	B		
		(5) 近隣への配慮(学校を含む)	ア・イ	C		
	総合評価理由・特記事項					
	ボランティア・保護者・健全育成・子供会等との協力や連携については努力しており、徐々に事業等への反映もなされている。また近隣への配慮についても学校との関係が順調であり、日頃の努力が認められる。ただし、受託者から市への備品や事業の改善提案において子どもたちの遊びの保障を優先しすぎている節がある。児童の福祉という観点からはよいことだが、市施設の受託という側面からみたまときに、近隣住民への配慮が以前よりもバランスを欠いている面が見受けられることから、より一層の努力を求めたい。 総合評価はBとする。					
	7 専門相 談	(1) 子育て相談の定着度	ア・イ	B	B	
		(2) 思春期相談の定着度	ア・イ	B		
		総合評価理由・特記事項				
仕様どおり、特に問題はない。 総合評価はBとする。						
8 管理		(1) 施設・備品の美化・点検について	ア	B	B	
		(2) 日常の安全管理(事故防止への意識)	ア	A		
		(3) 利用者の事故の対応	ア	A		
		(4) 保護者への対応	ア	B		
	総合評価理由・特記事項					
職員間の定期的ミーティングなどで情報共有を諮り、概ね問題はないが、備品の美化・点検について一部利用者アンケートの指摘がある。 総合評価はBとする。						

第1 ガイド	第2 ガイド	評価項目	内容の 分類	個別 評価	総合 評価	
Ⅲ 市との 関係	1 事務的 な連携	(1) 計画・報告・企画書等書類の作成・提出	ア	B	A	
		(2) 文書の管理	ア	A		
		(3) 個人情報の管理	ア	A		
	総合評価理由・特記事項					
	定例業務については仕様どおり実施しており、特に問題はない。 ただし、企画書等の提出に関連して、月例・定例業務以外の年1回未満の案件については、受託者内部での組織的な引継ぎや指導、複数人体制でのチェックに不備が散見されており、一層の注意を求める意味でB評価とする。 総合評価はAとする。					
	2 事業 参加・ 協力	(1) 各種合同行事等への担当者の関わり	ア	A	A	
		(2) 打合せ会・研修会への参加	ア	A		
		総合評価理由・特記事項				
	四館合同事業への職員の参加など、熱意を持って取り組んでいる。 また、市経由での研修参加や団体独自の研修・ミーティング内でのOJTも積極的に進めている。 ただし、責任者が代理対応となっていた期間においては物理的に例年通りの人員を出せない期間があった。 総合評価はAとする。					

(3) 総合評価

各項目で総合評価としてBが多く、改善すべき点も指摘されていることから、東児童館事業運営委託の全体の総合評価はBとする。

評価の内容を事務的な組織運営（人事等を含む）と児童館事業の運営に大別する。

前者については、直営館よりも多くの人員を揃えなくてはならないことや、組織的に小規模の地域NPOということで、常勤職員が1名であっても、その退職や交代の影響が大きい。特に、その役割や責任が明確な責任者の存在は重要であり、この5年間度重なる責任者の交代があっても大きな混乱がなく運営を行えたのは、常勤職員以下、旧体制からの職員がまとまっていたことが大きく、そのことから常勤職員の定着度は同様に重要である。今後は責任者をトップとし、一層、職員の役割を明確化した組織の構築が必要である。

なお、引継ぎが比較的容易な定例的な文書の提出、事業の計画立案等については、直営館からの些細な訂正、見直しの指示や指導は必要であったものの、直営館の事務レベルと比べても遜色がない。

後者については、計画を滞りなく実施しており、各種行事やグループ活動などの基本的な事業は直営館と比べても劣ることなく、一定のレベルを保っているが、悪い言い方をすれば、直営館と横一線にある、ということになる。そのことも総合評価Bという結果につながった大きな理由である。

なお、直営館にない独自性の発揮については、そもそも独自性の捉え方について意見が分かるところであるが、指定管理者制度の下での運営ではなく、直営館と同じ運営基本方針にもとづく業務委託であり、国の指針である「児童館ガイドライン」と照らし合わせても、市の児童館全体として、すでに高いレベルにある。そのことは十分に踏まえるべきである。

よって、総合評価Bという結果は、今の小金井市の児童館の形態の中での運営においては、利用者からのアンケート結果も含めて、高く評価されたものと考えたい。